



奉行通信

第41期

第2四半期ご報告

2019年4月1日～2019年9月30日

 株式会社 オービックビジネスコンサルタント

証券コード：4733

すべての業務とつながるひろがる  
 奉行クラウド

# ひと目でわかる! OBC

OBCは、テレビCMでおなじみの「勘定奉行」をはじめ、企業の基幹業務に特化した国産パッケージシステム「奉行シリーズ」の開発、販売および保守・導入を行っている会社です。

## OBCのコアコンピタンス

1 企業業務(会計・人事・給与等)の業務サービスにフォーカスする

2 中堅および中規模・小規模企業にフォーカスする

3 マイクロソフトのテクノロジーにフォーカスする

4 パートナー戦略にフォーカスする

5 ブランド戦略にフォーカスする

## OBCのクラウド製品

### ■ 奉行クラウド

#### 統合業務プラットフォーム

すべての業務とつながるひろがる  
**奉行クラウド**

#### バックオフィス業務 プラットフォーム

財務会計システム  
**勘定奉行クラウド**  
給与計算システム  
**給与奉行クラウド**  
販売管理システム  
**商奉行クラウド**  
仕入・在庫管理システム  
**蔵奉行クラウド** 他

#### 業務プロセス プラットフォーム

業務プロセスプラットフォーム  
**奉行クラウドEdge**  
給与明細電子化  
マイナンバー  
勤怠管理  
年末調整申告書  
ストレスチェック  
他

### ■ 統合クラウドERP (中堅・上場企業)

企業の成長と未来を支える  
即戦力型クラウドERP  
**奉行ERP**

安心と実績の製品・サービス、信頼できる確かな技術でお客様のニーズにお応えしてまいります。

導入社数累計

**630,000** 社

※2019年9月現在

奉行クラウド・奉行クラウドEdge導入社数累計

**24,400** 社以上

※2019年8月現在

## 株主の皆様へ



代表取締役社長 和田 成史

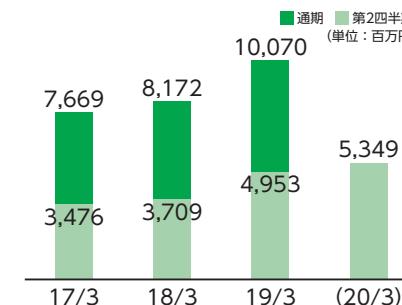
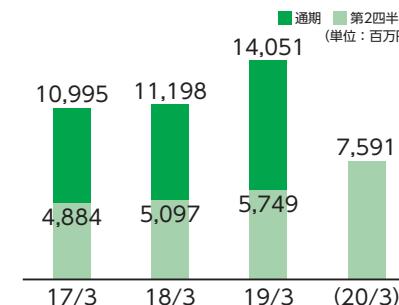
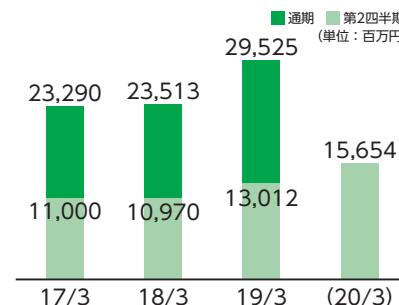
株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。  
当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦の激化や海外経済の減速による影響など、先行きの見通しは不透明な状況であります。  
当社の属する情報サービス産業においては、労働力不足を補完し生産力を高めるための新しいテクノロジーへの期待や消費税対応などにより、企業のシステムに対する需要が高く、これらを満たす様々なサービスが登場しております。  
このような環境のもと、当社は「顧客第一主義」を念頭に置き、強みである基幹業務システムを軸に、さらなる企業業務へのニーズに対応するため、最新技術を活用したサービス開発とユーザーサポート体制の強化を図ってまいりました。今後も常に業務改善に役立つシステム提案や最新情報を発信することにより、企業の生産性向上に貢献してまいります。  
株主の皆様には、今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 当第2四半期の業績

売上高 **156億54**百万円  
(前年同期比  $\uparrow$  20.3%増)

経常利益 **75億91**百万円  
(前年同期比  $\uparrow$  32.0%増)

四半期純利益 **53億49**百万円  
(前年同期比  $\uparrow$  8.0%増)



### ◆ 当第2四半期のポイント

- ◎ 自社製品の新規需要の増加および安定した保守サービス売上などにより、売上高、営業利益、経常利益が増加し、四半期純利益は、前年同期比8.0%増となりました。
- ◎ 当第2四半期は、消費税制度改正への各企業の対応が急務である中、システム提案の他、様々なサポート施策を通じ、最新情報を提供し、長期的に安心してご利用いただける環境をアピールポイントとして営業活動に努めてまいりました。

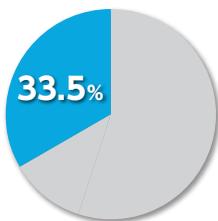
# 事業別の状況

## ソリューションテクノロジー



### ◆当第2四半期の状況

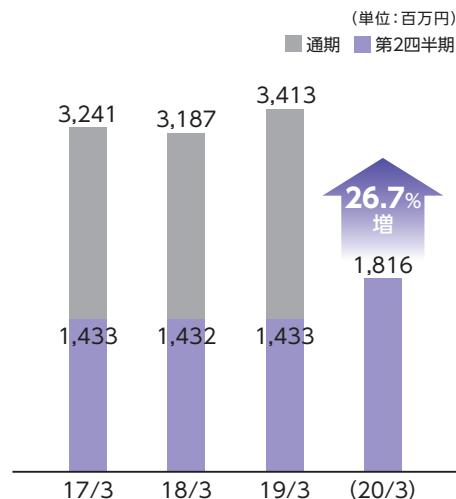
ソリューションテクノロジー部門の売上高は、52億38百万円(前年同期比22.6%増)となりました。自主製品のサポート終了、10月の消費税改正などにより製品需要が新規、バージョンアップ共に増加したことが主な要因です。



### ❖事業内容

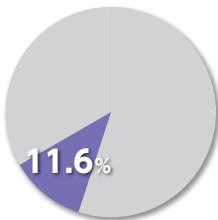
中堅および中規模・小規模企業を中心に、ITを活用したソリューションとして、「奉行シリーズ」をはじめとするソフトウェアを提供。企業規模やニーズに合わせて豊富なラインアップを用意しております。また、上位製品へのバージョンアップも当部門の売上高に含まれます。当社のソフトウェアは、販売・パートナーとの強固な連携による供給体制が確立されており、それらが強い競争力と安定成長力の基盤となっています。

## 関連製品



### ◆当第2四半期の状況

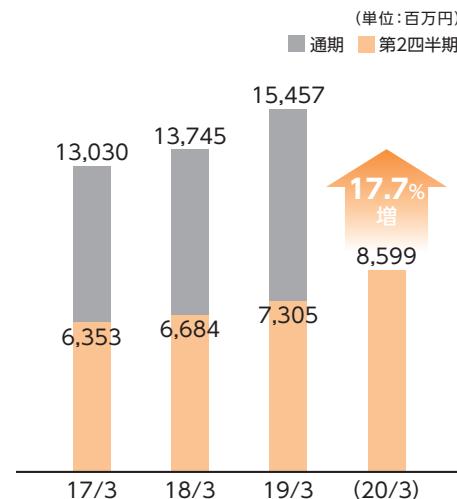
関連製品部門の売上高は、18億16百万円(前年同期比26.7%増)となりました。奉行連動ソリューションが178百万円増加しました。



### ❖事業内容

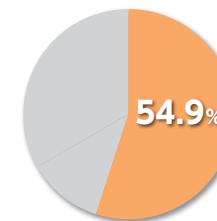
「奉行シリーズ」専用の仕様となっている伝票・帳票などの「奉行サプライ」を提供。このサプライ製品は、奉行シリーズをご購入いただいたお客様との継続的な取引につながる安定した収益源です。また奉行シリーズと連動して使用される他社開発のハードウェア、ソフトウェアの供給に伴う売上や、EB関連製品などの売上も、当部門の売上高に含まれています。

## サービス



### ◆当第2四半期の状況

サービス部門の売上高は、85億99百万円(前年同期比17.7%増)となりました。奉行保守契約料などが1,028百万円増加(奉行クラウドEdgeの増加を含む)、またインストラクター指導料も274百万円増加しています。



### ❖事業内容

システム導入後のユーザーサポートを目的とした「年間保守契約」や「オンライン・電話回線等サポートサービス」を提供。また、基幹システムの範囲を超える業務を補う「業務クラウドEdge」を多種展開。お客様目線に立ったきめ細かなサポート体制を確立しています。こうしたサービスは、当社製品の市場における評価・優位性につながるだけでなく、売上にも大きく寄与しています。

## 通期の見通し

奉行クラウドはフルラインナップの10システムを揃えたことにより、よりお客様の要望に幅広く応える提案が可能となりました。また、下期はパートナーカンファレンスや奉行クラウドフォーラム等のイベントの開催もあり、これら最新技術を活用したシステム提案を強化することで売上も順調に推移する見通しです。

加えて、引き続き働き方改革に伴うシステム対応や一部企業には消費税改正対応の遅れによる需要も見込まれます。

このような背景から、当社は2019年4月に発表した通期予想を右記の通り修正しております。

これからも当社では「顧客第一主義」の理念のもと、変わりゆく経済環境と進化するテクノロジーの双方をしっかりと見据え、信頼性・拡張性・柔軟性を兼ね備えた製品開発・保守サービスを提供してまいります。

### ◆2020年3月期業績予想

	金額	前期比	前回予想※
売上高	32,000	8.4%増	30,000
営業利益	14,500	10.6%増	13,400
経常利益	15,500	10.3%増	14,400
当期純利益	10,700	6.3%増	9,850

※2019年4月発表

# 「OBCパートナーカンファレンス 2019」および「奉行クラウドフォーラム2019」を開催しました!

## OBCパートナーカンファレンス2019

### 開催概要

開催期間	2019年9月11日(水)～11月1日(金)
開催場所	全国14会場
対象者	弊社パートナー様 弊社とのビジネスパートナーシップをご検討の企業様

OBCパートナーカンファレンスでは、企業の業務をクラウド化することで生まれる「新しい顧客価値」をパートナー様のビジネスにつなげる具体的な施策をご提案いたしました。パートナー様とともにさらに広がる新しいクラウドビジネスを展開していくためのビジネスモデルをプレゼンテーションし、情報共有を行うことで、より強固なパートナーシップにつながる有意義な情報交換の場となりました。



## 奉行クラウドフォーラム2019

UP  
toクラウド

クラウド業務  
スタイルを  
多くのお客様に!!



今年の奉行クラウドフォーラムでは、ついに新5製品がリリースされ、フルラインナップとなった「奉行クラウド」を会場にてご紹介。急速なビジネス環境の変化に対応できるクラウドならではの将来の業務スタイルとその可能性を体感していただきました。また、専門家による企業が今取り組むべき課題をテーマにしたセミナーや奉行クラウドの成功導入事例をご紹介するなど、業務に課題を抱えるお客様やこれからクラウド化を検討されるお客様にご好評いただきました。

### 開催概要

開催期間・場所	名古屋 2019年11月13日(水) 名古屋東急ホテル 大阪 2019年11月19日(火) 帝国ホテル 大阪 東京 2019年11月26日(火) ザプリンス パークタワー東京
対象者	弊社製品をご利用のお客様およびご購入検討のお客様

## OBCの製品・サービスは今年も高評価を獲得!

### 「日経コンピュータ 顧客満足度調査2019-2020」の「ERP部門」で第1位を獲得!!

基幹業務だけでなく、従業員の利便性を上げるクラウドサービスも加えた、企業業務全体を支える業務ERPパッケージシステムとして、性能・機能/信頼性/運用性を高く評価いただきました。



### 「マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2019アワード」Application Innovation アワード 最優秀賞を受賞!

Microsoft Azureを採用の「奉行クラウド」・「奉行クラウドEdge」を評価  
日本マイクロソフト社のクラウドプラットフォームを採用した、奉行クラウドの開発・取り組みの実績が評価され、昨年に続き2年連続の受賞となりました。



## 奉行クラウドがついにFULL LINE UP!

「奉行クラウド」に  
計務、総務人事、

より、安心安全にビジネスを加速化できる業務スタイルをご提供します。会  
販仕入れの各業務がすべてのクラウドでつながり、生産性が向上します。

### 奉行クラウド FULL LINE UP

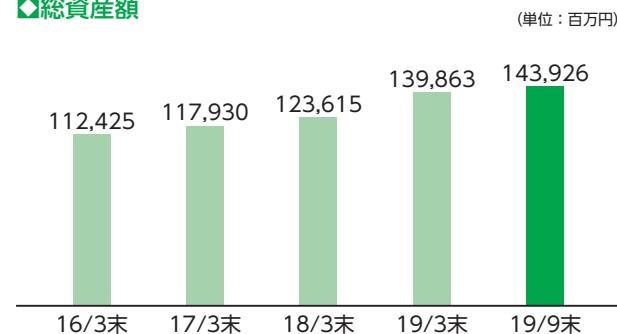


## 第2四半期貸借対照表 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第40期末 2019年3月31日現在	第41期 第2四半期末 2019年9月30日現在
<b>資 産 の 部</b>		
流動資産	108,300,975	109,774,283
固定資産	31,562,615	34,152,635
有形固定資産	447,895	405,224
無形固定資産	456,387	365,083
投資その他の資産	30,658,332	33,382,327
資産合計	139,863,590	143,926,918
<b>負 債 の 部</b>		
流動負債	18,445,199	16,058,653
固定負債	5,979,993	7,066,595
負債合計	24,425,193	23,125,248
<b>純 資 産 の 部</b>		
株主資本	102,740,292	106,221,061
資本金	10,519,000	10,519,000
資本剰余金	18,949,268	18,957,416
利益剰余金	78,621,595	82,092,284
自己株式	△5,349,571	△5,347,640
評価・換算差額等	12,698,105	14,580,608
その他有価証券評価差額金	12,698,105	14,580,608
1 純資産合計	115,438,397	120,801,669
負債純資産合計	139,863,590	143,926,918

### ◆総資産額



### ◆純資産額／自己資本比率



## 第2四半期損益計算書 (単位:千円)

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	前第2四半期 累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日
2 売上高	13,012,437	15,654,238
売上原価	2,031,347	2,724,704
売上総利益	10,981,090	12,929,534
販売費及び一般管理費	5,710,946	5,844,479
2 営業利益	5,270,143	7,085,054
営業外収益	481,216	530,656
営業外費用	1,841	23,902
経常利益	5,749,519	7,591,809
特別利益	1,409,615	141,468
特別損失	328	-
税引前四半期純利益	7,158,805	7,733,277
法人税等	2,205,160	2,383,488
法人税、住民税及び事業税	1,772,470	2,260,195
法人税等調整額	432,690	123,292
3 四半期純利益	4,953,645	5,349,789

## 第2四半期キャッシュ・フロー計算書 (単位:千円)

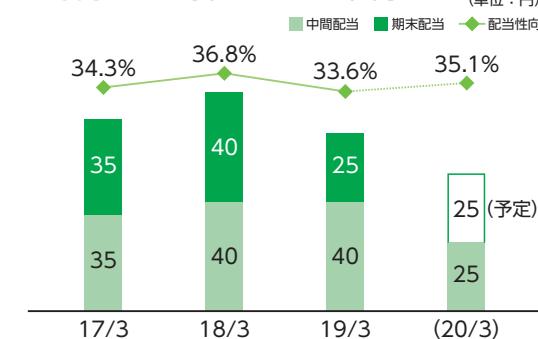
※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	前第2四半期 累計期間 2018年4月1日～ 2018年9月30日	当第2四半期 累計期間 2019年4月1日～ 2019年9月30日
4 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,774,089	6,280,458
5 投資活動によるキャッシュ・フロー	1,621,916	△42,298
6 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,503,333	△1,878,754
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,892,672	4,359,406
現金及び現金同等物の期首残高	87,113,504	97,829,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	92,006,176	102,189,198

## CHECK POINT

- 売上高・営業利益**  
2019年10月の消費税改正により奉行シリーズの新規需要が増加したため、売上高が前年同期比(以下同) 20.3%の増収となりました。その結果、販管費および研究開発費が増加したものの営業利益は同34.4%の増益となりました。
- 四半期純利益**  
前期は特別利益に投資有価証券売却益を1,408百万円計上したため、四半期純利益においては8.0%の増益となりました。
- 営業活動によるキャッシュ・フロー**  
主なプラス要因は、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少額であり、主なマイナス要因は、前受収益の減少額、法人税等の支払額によるものです。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー**  
主なプラス要因は、投資有価証券の売却による収入であり、主なマイナス要因は、無形固定資産の取得による支出によるものです。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー**  
主な要因は、配当金の支払額によるものです。

## ◆中間配当／期末配当／配当性向 (単位:円)

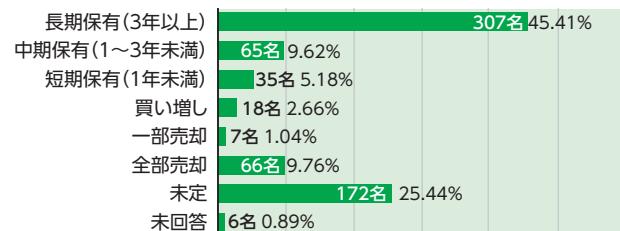


(注) 2019年1月1日付で1株につき2株の割合をもって株式分割を行っており、以降の1株当たり配当額は株式分割後の金額になっています。

# アンケート結果報告

「第40期奉行通信」で株主様へアンケートを実施させていただきました。株主数6,860名のうち676名よりご回答を頂戴しました。株主様へ御礼を申し上げますとともに、その集計結果のご報告をさせていただきます。

## Q 今後の当社株式の保有方針についてお聞かせください。



半数近くの株主様より、長期（3年以上）の保有方針とご回答をいただきました。

今後も安定的な利益還元を実現し、長期保有にメリットを感じていただけるよう営業活動に努めてまいります。

### ● 奉行通信の感想より

- 消費税率upに伴う変化概要のタイムリーな話題が参考になりました。今後も法改正の対応力に期待したいです。
- 重要な点をピックアップして紙面としては見やすくわかりやすいです。
- 今後の成長性についてもう少し書いてほしい。

## Q 当社のIR活動について特に充実を希望することは何ですか。



多くの株主様から「HPでの情報提供」「株主向け情報誌」の充実を希望されるとのご意見をいただきました。

「IRサイト（web）」や「奉行通信（紙面）」の充実を図り、両面から株主様の役に立つ情報開示に努めてまいります。

### ● その他ご意見のご紹介

- 一歩先を見た経営とさらなる業績の向上に期待しています。
- 株主優待の維持・向上をお願いします。
- 個人投資家向け説明会などに積極的に参加し、その活動を報告してほしいです。

# 企業情報

2019年9月30日現在

## 株式の状況

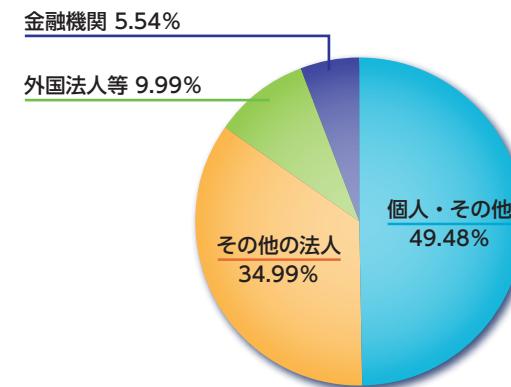
発行可能株式総数	322,816,000株
発行済株式の総数	80,704,000株
株主数	2,633名

## 大株主（上位5名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社オービック	27,178	36.16
和田成史	23,112	30.75
和田弘子	5,233	6.96
CHASE NOMINEES RE JASDEC TREATY CLIENT A/C (GENERAL)	2,162	2.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	1,238	1.65

※持株比率は自己株式（5,537千株）を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況



※自己株式5,537千株は、「個人・その他」に含めております。

## 企業プロフィール

会社概況	
商号	株式会社オービックビジネスコンサルタント
本社所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号
設立	1980年12月12日
資本金	10,519,000千円
従業員数	857名

役員	
取締役会長	野田 順 弘
代表取締役社長	和田 成 史
専務取締役	和田 弘 子
常務取締役	中山 茂
取締役	唐 鎌 勝 彦
取締役	荻 野 俊 夫
取締役	橘 昇 一
取締役	伊 東 千 秋
取締役	沖 原 隆 宗
取締役	川 西 篤
監査役	黒 岡 成 一
監査役	井 坂 眞 持
監査役	高 橋 利 郎

## 主要事業拠点

本社／東京営業部	〒163-6032 東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー32F
大阪支店	〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル23F
名古屋支店	〒450-6325 愛知県名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋25F

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
(ホームページ)	<a href="https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html">https://www.smbt.jp/personal/agency/index.html</a>
一単元の株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

### ■ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

株主様の口座がある証券会社等へお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、左記の電話照会先にお問い合わせいたします。

### ■ 「配当金計算書」について

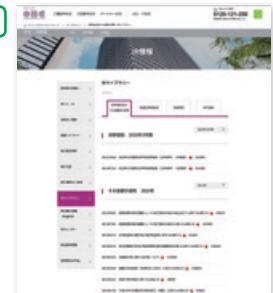
配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

## 当社IRサイトのご案内

財務ハイライトや決算のご報告、奉行通信などが、いつでもどこでも、ご覧いただけるよう、当社IRサイトは、スマートフォンにも対応しています。



※実際にスマホで見た際の財務ハイライト画面イメージ。



① **財務ハイライト** <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/highlight/>  
四半期ごとの決算情報をもとに、見やすさを工夫。タイムリーにご覧いただけます。

② **決算のご報告** <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/release/report>  
有価証券報告書・四半期報告書に掲載された内容をもとに、より充実した情報量・体裁となりました。

③ **IRライブラリー** <https://www.obc.co.jp/corporate/ir/library/>  
有価証券報告書、決算短信等、過去の開示書類をご覧いただけます。また、奉行通信やアナリスト向け説明会の内容も、このページから閲覧可能です。